

平成23年7月 全国百貨店売上高概況

平成23年8月18日

I. 概況

1. 売上高総額	6,006億円余
2. 前年同月比	-0.1% (店舗数調整後/2か月ぶりマイナス)
3. 調査対象百貨店	86社 255店 (平成23年6月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,944,891㎡ (前年同月比: 6.9%)
5. 総従業員数	89,821人 (前年同月比: -4.9%)
6. 3か月移動平均値	12-2月 -0.8%、1-3月 -5.4%、2-4月 -5.8%、 3-5月 -6.5%、4-6月 -1.2%、5-7月 -0.7%

[参考] 平成22年7月の売上高増減率は-1.4% (店舗数調整後)

【7月売上の特徴】

2か月ぶりの前年同月比マイナスであるが、減少幅は小さくほぼ前年並みの水準で推移した。また、中期トレンドを示す3か月移動平均値も前年水準まで回復してきた。

7月は、震災による経済への影響が薄らぎ、景気の持ち直しと消費マインドの回復が続いたことを背景に、宝飾品や特選衣料雑貨など高額商材 (美・宝・貴: +5.3%、身のまわり: +3.8%) が前年を上回る動きを見せた。また、中旬までの猛暑と節電意識の高まりで、クールビズや涼感寝具など暑さ対策商材が引き続き活況であったが、台風6号の上陸とそれに続く気温低下の影響を受けて、月の後半は入店客数が伸び悩むとともに、衣料品を中心に盛夏商材が苦戦したことなどから、最終的には前年実績をわずかに下回る結果となった。

具体的な動向としては、中元商戦が早期受注の反動から7月はやや低調に推移したことなどマイナス要素がある一方、プラス要素としては、震災後の復興需要で東北地区 (仙台: +7.7%、東北: +5.8%) が活況であること、日曜日が前年に比べ1日増だったこと、家庭回帰・肉食志向で食器や調理器具 (その他家庭用品: +2.6%) が伸びを示していること、などが報告されている。

【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「7月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇ 上旬は北日本に、また中旬には東日本に南からの暖かい空気が流れ込んだため、記録的に気温が高かった。また、中旬後半の台風6号の上陸で大雨の地域があったほか、月末には新潟・福島豪雨で甚大な被害が発生した。

(2) 営業日数増減 30.9日 (前年同月比-0.1日)

(3) 土・日・祝日の合計 11日 (" +1日/日曜1日増)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した: 43店、②変化なし: 32店、③減少した: 55店、④不明: 44店

(5) 7月歳時記 (夏祭り/七夕・花火大会等、新暦お盆、夏休み) の売上 (同上)

①増加した: 11店、②変化なし: 61店、③減少した: 26店、④不明: 76店

(6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)

①増加する: 16店、②変化なし: 75店、③減少する: 31店、④不明: 52店

全国百貨店 売上高速報 2011年07月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全国	600,663,331	100.0	-0.1 (0.1)
10都市	395,215,065	65.8	-0.2 (0.6)
札幌	14,111,116	2.3	-2.2
仙台	9,153,432	1.5	7.7
東京	144,156,883	24.0	-1.3 (-1.8)
横浜	34,149,708	5.7	2.3 (1.5)
名古屋	36,233,842	6.0	1.1 (-3.9)
京都	23,221,351	3.9	-0.5 (-2.7)
大阪	81,966,497	13.6	1.0 (5.1)
神戸	17,085,914	2.8	-1.6
広島	15,289,434	2.5	-0.7
福岡	19,846,888	3.3	-4.7 (15.0)
10都市以外の地区	205,448,266	34.2	0.2 (-0.9)
北海道	3,072,595	0.5	-4.3
東北	9,590,297	1.6	5.8 (-10.1)
関東	97,042,606	16.2	-0.3 (-0.6)
中部	16,167,105	2.7	-2.3
近畿	19,213,413	3.2	2.4
中国	14,131,359	2.4	-0.8
四国	11,873,327	2.0	-0.1
九州	34,357,564	5.7	1.4 (0.1)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	600,663,331	100.0	-0.1 (0.1)
紳士服・洋品	38,339,771	6.4	-0.2 (0.9)
婦人服・洋品	135,969,983	22.6	-0.8 (-1.4)
子供服・洋品	13,383,873	2.2	-0.8 (0.4)
その他衣料品	15,233,034	2.5	-3.2 (-3.6)
衣 料 品	202,926,661	33.8	-0.9 (-1.1)
身のまわり品	73,478,806	12.2	3.8 (4.3)
化粧品	27,882,657	4.6	2.4 (2.5)
美術・宝飾・貴金属	25,707,223	4.3	5.3 (5.6)
その他雑貨	20,997,967	3.5	-2.9 (-2.7)
雑 貨	74,587,847	12.4	1.8 (2.0)
家具	7,575,824	1.3	0.9 (1.1)
家電	1,694,251	0.3	0.9 (0.9)
その他家庭用品	18,465,615	3.1	2.6 (2.7)
家 庭 用 品	27,735,690	4.6	2.0 (2.1)
生鮮食品	38,054,061	6.3	-2.3 (-2.3)
菓子	43,775,729	7.3	0.4 (1.5)
惣菜	32,945,554	5.5	0.8 (1.6)
その他食料品	74,011,731	12.3	-3.5 (-3.7)
食 料 品	188,787,075	31.4	-1.6 (-1.3)
食堂喫茶	17,058,788	2.8	4.7 (7.0)
サービス	5,380,063	0.9	-3.7 (-5.4)
そ の 他	10,708,401	1.8	-5.3 (-6.1)
商 品 券	30,283,477	5.0	-10.0 (-10.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	-0.2%	(店舗数調整後／2か月ぶりマイナス)
2. 10都市以外の地区売上動向	0.2%	(" / 2か月連続プラス)

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-0.2	-0.2	2か月ぶりマイナス
札幌	-2.2	-0.1	3か月連続マイナス
仙台	7.7	0.1	3か月連続プラス
東京	-1.3	-0.3	2か月ぶりマイナス
横浜	2.3	0.1	4か月連続プラス
名古屋	1.1	0.1	2か月連続プラス
京都	-0.5	0.0	5か月連続マイナス
大阪	1.0	0.1	4か月連続プラス
神戸	-1.6	0.0	3か月連続マイナス
広島	-0.7	0.0	2か月ぶりマイナス
福岡	-4.7	-0.1	36か月連続マイナス
10都市以外の地区	0.2	0.1	2か月連続プラス
北海道	-4.3	0.0	9か月連続マイナス*
東北	5.8	0.1	4か月連続プラス*
関東	-0.3	-0.1	2か月ぶりマイナス
中部	-2.3	-0.1	5か月連続マイナス
近畿	2.4	0.1	4か月連続プラス
中国	-0.8	0.0	2か月ぶりマイナス*
四国	-0.1	0.0	49か月連続マイナス
九州	1.4	0.1	2か月連続プラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、家庭用品が2か月連続、身のまわり品が5か月ぶり、雑貨が41か月のプラス。マイナスは衣料品、食料品。また、美術・宝飾・貴金属、その他家庭用品、菓子が2か月連続、惣菜が3か月連続、家電が2か月ぶり、化粧品が5か月ぶり、家具が44か月のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-0.1	—	2か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-0.2	0.0	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-0.8	-0.2	5か月連続マイナス
子供服・洋品	-0.8	0.0	3か月連続マイナス
その他衣料品	-3.2	-0.1	41か月連続マイナス
衣料品	-0.9	-0.3	5か月連続マイナス
身のまわり品	3.8	0.4	5か月ぶりプラス
化粧品	2.4	0.1	5か月ぶりプラス*
美術・宝飾・貴金属	5.3	0.2	2か月連続プラス*
その他雑貨	-2.9	-0.1	44か月連続マイナス*
雑貨	1.8	0.2	41か月ぶりプラス
家具	0.9	0.0	44か月ぶりプラス
家電	0.9	0.0	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	2.6	0.1	2か月連続プラス
家庭用品	2.0	0.1	2か月連続プラス
生鮮食品	-2.3	-0.2	2か月ぶりマイナス*
菓子	0.4	0.0	2か月連続プラス*
惣菜	0.8	0.0	3か月連続プラス*
その他食料品	-3.5	-0.4	3か月ぶりマイナス*
食料品	-1.6	-0.5	3か月ぶりマイナス
食堂喫茶	4.7	0.1	2か月連続プラス
サービス	-3.7	0.0	8か月連続マイナス
その他	-5.3	-0.1	2か月ぶりマイナス
商品券	-10.0	-0.6	5か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>